

各 位

フィデアホールディングス株式会社
株式会社 荘内銀行
株式会社 北都銀行

平成 24 年 3 月期（平成 23 年度）決算概要について

フィデアホールディングス株式会社（本社：仙台市、社長：里村 正治、以下「フィデアHD」）は、平成 24 年 3 月期（平成 23 年度）の連結業績と株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、頭取：國井 英夫、以下「荘内銀行」）及び株式会社北都銀行（本店：秋田市、頭取：斉藤 永吉、以下「北都銀行」）の単体業績等につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. フィデアHD

(1) 平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）連結業績

経常収益は有価証券関連収益の減少等により前期比減収となったものの、有価証券の減損処理費用や与信関連費用の減少及び経費削減に引き続き努めたことで経常利益、当期純利益とも前期比増益。

譲渡性預金を含む預金等残高は個人預金を中心に増加し前期末比 1,538 億円（7.6%）増加の 2 兆 1,684 億円。貸出金残高は個人、法人、地方公共団体向けがそれぞれ増加し前期末比 725 億円（5.0%）増加の 1 兆 5,194 億円。荘内、北都両行とも業容が拡大。

連結自己資本比率は荘内銀行の劣後債償還やグループの業容拡大に伴い前期末比 0.52 ポイント低下するも、連結 Tier I 比率は前期末比 0.08 ポイント上昇（速報値）。2 行単純合算（単体）の金融再生法開示債権比率は荘内、北都とも上昇したことで前期末比 0.20 ポイント上昇。

			番号	フィデアHD				
				前期	前期(末)比	同増減率		
【連結】	損 益	経常収益	(1)	49,126 百万円	52,717 百万円	△ 3,590 百万円	△ 6.8 %	
		連結粗利益	(2)	38,748 百万円	38,990 百万円	△ 242 百万円	△ 0.6 %	
		経常利益	(3)	7,523 百万円	5,053 百万円	2,470 百万円	48.8 %	
		当期純利益	(4)	4,243 百万円	3,674 百万円	569 百万円	15.4 %	
	経 営 効 率	コア業務粗利益経費率(OHR)	(5)	78.06 %	76.06 %	2.00 %		
	自己資本比率 (速報値)	自己資本比率	(6)	8.07 %	8.59 %	△ 0.52 %		
		Tier I 比率	(7)	6.24 %	6.16 %	0.08 %		
	主要勘定残高 (末残)	総資産	(8)	23,522 億円	22,135 億円	1,386 億円	6.2 %	
		預金等(譲渡性預金を含む)	(9)	21,684 億円	20,145 億円	1,538 億円	7.6 %	
		貸出金	(10)	15,194 億円	14,468 億円	725 億円	5.0 %	
	【合算】	不良債権	有価証券	(11)	7,009 億円	5,862 億円	1,146 億円	19.5 %
			金融再生法開示債権額	(12)	43,388 百万円	38,325 百万円	5,063 百万円	13.2 %
			総与信に占める割合	(13)	2.79 %	2.59 %	0.20 %	

※平成 24 年 3 月期の配当については、普通株式 1 株当たり 5 円の期末配当を実施（年間 5 円）

(2) 平成 25 年 3 月期（平成 24 年度）連結業績予想

フィデアHDの平成 25 年 3 月期通期連結業績は、有価証券関係収益の減少、北都銀行の確定拠出年金移行に伴う特別利益がなくなること等を要因に、当期純利益が微減となる計画。

	番号	第2四半期累計期間			通期			
			前年同期比	同増減率	前期比	同増減率		
フィデアHD(連結)	経常収益	(14)	23,000 百万円	△ 1,870 百万円	△ 7.5 %	47,000 百万円	△ 2,126 百万円	△ 4.3 %
	経常利益	(15)	3,200 百万円	△ 43 百万円	△ 1.3 %	6,800 百万円	△ 723 百万円	△ 9.6 %
	当期(中間)純利益	(16)	1,900 百万円	5 百万円	0.3 %	4,100 百万円	△ 143 百万円	△ 3.3 %

※平成 25 年 3 月期の配当については、普通株式 1 株当たり 5 円の期末配当を計画（年間 5 円）

(次ページへ)

2. 荘内銀行

(1) 平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）単体業績

経常収益は有価証券関連収益が減少し前期比減収。経常利益と当期純利益は業容拡大に伴い資金利益が増加したほか、経費、与信関係費用、有価証券の減損処理費用等が減少し、前期比増益。

業容は引き続き拡大。譲渡性預金を含めた預金等残高は個人預金を中心に増加し、前期末比 1,283 億円（13.7%）増加の 1 兆 591 億円と大きく伸長。決算期末で初めて 1 兆円を超えた。貸出金は法人貸出や地方公共団体向け貸出を中心に増加し、前期末比 501 億円（6.6%）増加の 8,070 億円となり、決算期末で初めて 8,000 億円を突破。

金融再生法開示債権額は震災の影響を受けた住宅ローン等の条件変更に丁寧に対応したことから前期末比 32 億円増加。総与信に占める割合は当中間期末比では 0.23 ポイント低下したものの、前期末比では 0.24 ポイント上昇して 2.75%。自己資本比率は劣後債の償還、及び貸出金と有価証券の増加により前期末比 1.29 ポイント低下し 10.21%（速報値）。

		番号	荘内銀行	前期	前期(末)比	同増減率
【単体】	損益	経常収益	(17) 22,429 百万円	25,264 百万円	△ 2,835 百万円	△ 11.2 %
		業務純益	(18) 4,678 百万円	3,066 百万円	1,611 百万円	52.5 %
		コア業務純益*	(19) 4,032 百万円	3,909 百万円	123 百万円	3.1 %
		経常利益	(20) 3,461 百万円	2,521 百万円	940 百万円	37.2 %
		当期純利益	(21) 1,460 百万円	1,405 百万円	54 百万円	3.8 %
	不良債権	金融再生法開示債権額	(22) 22,685 百万円	19,458 百万円	3,226 百万円	16.5 %
		総与信に占める割合	(23) 2.75 %	2.51 %	0.24 %	
		与信関係費用	(24) 760 百万円	1,040 百万円	△ 280 百万円	△ 26.9 %
	自己資本比率 (速報値)	自己資本比率	(25) 10.21 %	11.50 %	△ 1.29 %	
		Tier I 比率	(26) 7.52 %	7.67 %	△ 0.15 %	
主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(27) 10,591 億円	9,307 億円	1,283 億円	13.7 %	
	貸出金	(28) 8,070 億円	7,569 億円	501 億円	6.6 %	
	有価証券	(29) 2,718 億円	2,124 億円	594 億円	27.9 %	

*コア業務純益 = 業務純益 - 国債等債券損益(5勘定戻) + 一般貸倒引当金純繰入額

(2) 平成 25 年 3 月期（平成 24 年度）単体業績予想

荘内銀行の平成 25 年 3 月期通期単体業績は、業容拡大に伴う資金利益と役務取引等利益の増加、税制改正等に伴う繰延税金資産の取り崩しがなくなること等で、当期純利益が増益となる計画。

	番号	第2四半期累計期間			通期		
		前年同期比	同増減率	前期比	同増減率		
荘内銀行(単体)	経常収益(30)	11,000 百万円	△ 358 百万円	△ 3.1 %	22,100 百万円	△ 329 百万円	△ 1.4 %
	経常利益(31)	1,450 百万円	△ 117 百万円	△ 7.5 %	3,100 百万円	△ 361 百万円	△ 10.4 %
	当期(中間)純利益(32)	800 百万円	△ 76 百万円	△ 8.6 %	1,700 百万円	239 百万円	16.3 %

(次ページへ)



3. 北都銀行

(1) 平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）単体業績

経常収益は有価証券関連収益が増加したものの、金利環境の変化から資金運用収益や金融派生商品収益の減少により前期比減収。経常利益と当期純利益は効率化効果追求による経費の削減や与信関係費用の減少により前期比増益。

業容は引き続き拡大。譲渡性預金を含む預金等の期末残高は個人預金、法人預金、公金預金が総じて増加し、前期末比 259 億円（2.3%）増加の 1 兆 1,193 億円。貸出金は法人向け貸出、地公体向け貸出を中心に増加し、前期末比 277 億円（4.0%）増加の 7,202 億円。

金融再生法開示債権額は回復感が不透明な経済環境を鑑み、お取引先への丁寧な経営支援活動に取り組んだ結果、前期末比 18 億円増加。総与信に占める割合は前期末比 0.15 ポイント上昇して 2.83%。自己資本比率は貸出金の増加を反映して前期末比 0.02 ポイント低下の 8.42%（速報値）。

		北都銀行					
		番号	前期	前期(末)比	同増減率		
【単体】	損益	経常収益	(33) 23,568 百万円	23,964 百万円	△ 396 百万円	△ 1.6 %	
		業務純益	(34) 5,241 百万円	5,135 百万円	106 百万円	2.0 %	
		コア業務純益*	(35) 3,601 百万円	3,961 百万円	△ 360 百万円	△ 9.0 %	
		経常利益	(36) 3,204 百万円	2,000 百万円	1,203 百万円	60.1 %	
		当期純利益	(37) 1,522 百万円	1,412 百万円	110 百万円	7.7 %	
	不良債権	金融再生法開示債権額	(38) 20,703 百万円	18,866 百万円	1,836 百万円	9.7 %	
		総与信に占める割合	(39) 2.83 %	2.68 %	0.15 %		
		与信関係費用	(40) 1,032 百万円	2,394 百万円	△ 1,361 百万円	△ 56.8 %	
	自己資本比率 (速報値)	自己資本比率	(41) 8.42 %	8.44 %	△ 0.02 %		
		Tier I 比率	(42) 7.38 %	7.40 %	△ 0.02 %		
	主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(43) 11,193 億円	10,933 億円	259 億円	2.3 %	
		貸出金	(44) 7,202 億円	6,924 億円	277 億円	4.0 %	
		有価証券	(45) 4,376 億円	3,837 億円	538 億円	14.0 %	

*コア業務純益 = 業務純益 - 国債等債券損益(5勘定戻) + 一般貸倒引当金純繰入額

(2) 平成 25 年 3 月期（平成 24 年度）単体業績予想

北都銀行の平成 25 年 3 月期通期単体業績は、有価証券関連収益の減少等を見込む一方、引き続き業容の拡大、預り資産販売手数料の増強、経費削減効果等により当期純利益が増益となる計画。

		第2四半期累計期間				通期		
		番号	前年同期比	同増減率	前期比	同増減率		
北都銀行(単体)	経常収益	(46)	10,750 百万円	△ 1,019 百万円	△ 8.6 %	21,700 百万円	△ 1,868 百万円	△ 7.9 %
	経常利益	(47)	1,400 百万円	△ 524 百万円	△ 27.2 %	2,800 百万円	△ 404 百万円	△ 12.6 %
	当期(中間)純利益	(48)	800 百万円	△ 233 百万円	△ 22.5 %	1,600 百万円	77 百万円	5.0 %

以上

【本件に関するお問い合わせ先（報道関係）】

フィデアホールディングス IRグループ 大石 TEL : 018-833-4211
佐藤 TEL : 023-626-9006